

平成26年3月11日

常任理事・相談役 各位

全日本プラスチックリサイクル工業会
会長 大塚 一郎

平成25年度 第2回常任理事会 議事進行要旨

開催日時:平成26年3月11日(火)午後2時より

開催場所:東武ホテル レバント東京
東京都墨田区錦糸1-2-2 TEL 03-5611-5629

出席者 大塚会長 浅野副会長 本城副会長 中村副会長 石塚常任
増沢常任 藤井常任(愛) 山田常任 中山(晃)常任 中山(雄)常任
小池常任 二井常任 高田常任 武田常任 田中常任
芝原常任 山下常任 井上専務理事 福本事務局長
進藤相談役

欠席者 磯野相談役 江上相談役 藤井常任 敬称は省略させていただきます
(出席者 19名+事務局 1名 ;出席者合計 20名)

議題

1. 第38回通常総会及び懇親パーティーの役割分担について
2. 平成25年度決算報告、平成26年度予算案の審議について
3. エコキャップ活動について
4. カーボンフットプリント活動について
5. 市況分析
6. その他

◆ 会長挨拶

1. 通常総第38回会及び懇親パーティーの役割分担について

開催日:平成26年6月10日(火)
開催時間:午前11時~午後1時40分(常任理事会)
午後2時~3時(通常総会)
午後3時15分~5時15分(懇親会)
開催場所:東武ホテル レバント東京 (錦糸町)

- イ) 総会次第 2時~3時 総合司会(常任理事)
a) 開会のことば (副会長)
b) 会長のあいさつ (大塚 会長)
c) 総会成立宣言 (常任理事)
d) 議長選出 (副会長)
e) 議事説明 (井上 専務理事)
監査報告 (監事)
f) 万歳三唱 (相談役)
g) 閉会のことば (副会長)
- ロ) 懇親パーティー次第 3時~5時 総合司会(常任理事)
a) 会長の挨拶 (大塚 会長)
b) 来賓祝辞 (プラスチック循環利用協会 様)
c) 乾杯 (相談役)
e) 中々 (常任理事)

平成26年3月11日

常任理事・相談役 各位

全日本プラスチックリサイクル工業会
会長 大塚 一郎

平成25年度 第2回常任理事会 議事進行要旨

2. ア)平成25年度決算報告、平成26年度予算案の審議について
(別紙総会資料参照)

イ)平成26年度事業計画について
(別紙平成25年度事業計画参照)

3. エコキャップ活動について

4. リサイクル推進協議会の表彰について
グループB(東日本・日本有効)

5. 「2014NEW環境展」開催協賛名使用に対する問い合わせ
(別紙参照)

6. 経産省化学課との意見交換会開催報告

7. 市況分析
《愛知》

《関西》

《京滋》

《北陸》

《九州》

《東日本》

《日本有効》

《関東》

8. その他

平成25年度 収支(予算・実績)対比(理事会用)

自 平成25年5月 1日

至 平成26年4月30日

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	実 績	増 減	摘 要
賦課金	1,113,000	1,113,000	0	関東 51 357,000 日本有 5 35,000
参加費収入	50,000	80,000	30,000	東日本 27 189,000 愛知 33 231,000
				九州 6 42,000 北陸 5 35,000
受取利息	1,000	304	-696	関西 15 105,000 京滋 13 91,000
その他収入	0	500,000	500,000	個人 4 28,000
前年度繰越金	1,584,266	1,584,266	0	計 158 1,113,000
合 計	2,748,266	3,277,570	529,304	

支出の部

科 目	予 算	実 績	増 減	摘 要
教育情報費	300,000	87,717	-212,283	予 業界懇談会費用(講演・講師御礼等) 実 経済産業省意見交換会費用
調査研究費	250,000	8,138	-241,862	予 調査費 実 CFP調査費
会議費	900,000	784,192	-115,808	予 第37回通常総会費 常任理事会 実 第37回通常総会費 (仮)常任理事会312,000
福利厚生費	30,000	0	-30,000	予 慶弔費 実 無し
通信費	30,000	0	-30,000	予 郵便料 実 無し
広告宣伝費	200,000	186,586	-13,414	予 ホームページ管理料、業界紙広告料 実 レンタルサーバー料65626、(仮)ホームページ管理料120960、
事務用消耗品費	10,000	0	-10,000	予 事務用品代 実 無し
支払手数料	2,000	1,680	-320	予 振込手数料 等 実 (仮)振込手数料840
旅費交通費	100,000	0	-100,000	予 交通費 実 無し
雑費	100,000	52,920	-47,080	予 その他諸経費 実 相談役への記念品
翌年度繰越金	826,266	2,156,337	1,330,071	普通預金 2,519,183円 現金 70,954円 支出予定 433,800円 2,519,183+70,954-433,800=2,156,337
合 計	2,748,266	3,277,570	529,304	サーバーレンタル期間2013年6月1日～2015年5月31日

平成26年度 仮・収支予算（理事会用）

自 平成26年5月 1日
至 平成27年4月30日

収入の部

（単位：円）

科 目	金 額	摘 要
賦課金	1,106,000	関東 51 357,000 日本有 5 35,000
参加費収入	50,000	東日本 26 175,000 愛知 34 252,000
		九州 6 42,000 北陸 5 35,000
		関西 15 98,000 京滋 12 84,000
受取利息	1,000	個人 4 28,000
その他収入	0	計 158 1,106,000
前年度繰越金	2,156,337	
合 計	3,313,337	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
教育情報費	300,000	業界懇談会費用（講演・講師お礼等）
調査研究費	250,000	調査費
会議費	900,000	第38回通常総会会費・常任理事会
福利厚生費	30,000	慶弔費
通信費	30,000	郵便料
広告宣伝費	200,000	レンタルサーバー費・H.P.管理料・その他
事務用消耗品費	10,000	事務用品代
支払手数料	2,000	振込手数料 等
旅費交通費	100,000	交通費
雑費	100,000	その他諸経費
翌年度繰越金	1,391,337	
合 計	3,313,337	

参照;平成25年度事業計画

第2号議案 平成25年度 事業計画書(案)

自 平成25年5月 1日

至 平成26年4月30日

1. 基本方針

国内製造業の低迷が続く中、今後の存続、成長するためにはよりニッチ化する(技術力を高めて差別化する)、より情報、交流の場広めることにつとめなければならないと思われま

す。
本年度は産学官の連携を模索し、交流を広めながら技術情報の取得につとめ業界の拡大を図りたいと思います。また新たに制定された小型家電リサイクル法を研究し再生可能な原料ソースの確保、再生技術の確立を目指したいと思います。

限りある資源の有効活用を通じて循環型社会の形成のために私たち会員企業が連携し社会の発展に貢献して行きたいと思いをします。

2. 事業計画

(1)組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性化を図る。

(2)広報宣伝活動

業界紙に広告を掲載する。

ホームページを活用する。

(3)教育情報・調査研究活動

①組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性を図る。

②業界懇親会開催

て 業界の現況、今後の見通し及び当面する諸問題(特に環境・リサイクル関連)について情報交換を行い、検討・協議するため懇親会を開催する。

③関係団体等開催の講習会への参加

(4)関係官庁・団体との連絡

経済産業省化学課

日本プラスチック工業連盟

(社)プラスチック処理促進協会

日本プラスチック有効利用組合

中国国家質量検験検疫総局

2/2

エコキャップ配送キットの取り扱いに対する答申書

全日本プラスチックリサイクル工業会 御中

- 1 エコキャップ配送サービスについては、既存の一極集中の配送を改め、全国のプラスチック再生業者にCO2削減の観点から地域ごとに、受入体制を再構築する。
- 2 エコキャップ推進協会は、キャップ回収の促進として、全国の障がい者施設と連携して、障がい者雇用の観点、キャップリサイクル及び集積方法の改善を考慮して「エコステーション」の設立を推進していく。
- 3 第二、第三のエコキャップ運動を展開する為に、新たに一般社団法人 リサイクル推進機構(仮称)を設立する。
- 4 エコキャップ配送サービスの運用については、業務を一般社団法人 リサイクル推進機構に移管する。

上記の答申は、エコキャップ推進協会 理事会の運営指針であり、エコキャップ配送サービス、キャップ集約拠点となる「エコステーション」、一般社団法人 リサイクル推進機構の設立等について、関係団体等と協議の上、推進していきます。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

平成25年9月12日

特定非営利活動法人 エコキャップ推進協会
理事長 矢部 信司

2014.1.23

プラキャップの店頭回収・リサイクル実証計画・案

プラ推進協・キャップリサイクルWG
キャップ協会

1.目的

PETボトルのリサイクルが進展している中で、関連製品であるキャップのリサイクルにも関心が高まっている。

そこでプラ容器包装の3R推進の一環として、事業者の自主的な取り組みによるPETボトルキャップの回収・リサイクルを検証することで、多様な回収システムの構築を図りたい。

本取り組みには、プラキャップ製造をはじめ、プラ容器包装の利用・製造及び小売りなど関係事業者が参加し、PETボトル用プラキャップのリサイクルシステムの店頭回収及び質の良いリサイクルに係る実証事業を行う。

取り組み成果を報告書として纏める。特に、質の良いリサイクルが期待できることから、この実証を通して、キャップのリサイクルの取り組みマニュアル化を目指す。

2.事業計画・案

① プラキャップのリサイクルの排出量、回収量等の調査

期間=2014年4月～9月

項目=排出量、現在の回収量・回収主体・ルート、見込み回収数量、リサイクル手法、材料価値の評価、想定コスト(市場での経済性)、用途の可能性、など。

② プラキャップの店頭回収・リサイクルの実証

参加する小売業の店頭での回収及び物流、リサイクルに関する実証。

期間・・・2014年4月～2014年9月

- ・回収実施店舗・・・ヤオコー・全店舗(132店舗)
- ・回収ルート・・・店舗～ヤオコーセンター3ヵ所～進栄化成(定回収袋供給・100袋程度)。
10kg/袋、10～20円/Kg程度で購入；有価物で廃掃法対象外す。
- ・リサイクル手法・・・進栄化成のリサイクルプロセス(対象樹脂・PP、HDPE)
最終製品・マイバケット、防災ヘルメット等(商品で販売)
- ・品質評価、製品試作、コスト把握と改善策、輸送等の法的取扱い、改善策。
- ・環境負荷評価=学識者に依頼



③ 実証WG

キャップ製造者(キャップ協)、PETボトルメーカー(PETボトル協)、清涼飲料メーカー(全清飲)、小売事業者(CS協会・SM協会)、リサイクル事業者、プラ推進協、学識者・LCA等の評価、オブザーバー・経産省、環境省。

④ 費用 <原則・キャップ協会が負担>

1. 店頭回収備品・・・回収BOX(ヤオコー)×132個
2. ポスター・・・B4 & A4(各1,000枚)合計2,000枚
3. 回収品収納袋・・・進業化成無償提供
4. 輸送伝票・・・既存品使用
5. 回収輸送費・・・センターからの回収袋回収時の運送費
6. リサイクル工程
選別・粉碎・洗浄・造粒 ペレット化・・・コスト確認
7. 製品化工程
製品選定、コンパウンド加工、成形、金型、仕上げ・・・
=工程、想定コスト、ペレット物性評価など
8. 製品仕様
製品仕様及び利用用途・・・回収店舗(ヤオコー)販売予定
9. 環境影響評価・・・LCA評価=東大・中谷助協に依頼(評価項目データ)

⑤ 報告書作成

事務局で対応(シンクタンクの起用も検討) ※ レジ袋報告書参照。

以上

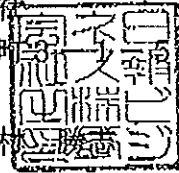


平成 26 年 3 月 8 日

全日本プラスチックリサイクル工業会
会長 大塚 一郎 殿

日報ビジネス株式会社
東京都千代田区三崎町

代表取締役社長 河村



「2014NEW環境展」に対する全日本プラスチックリサイクル工業会の協賛名
義使用の承認申請について

「2014NEW環境展」に対する全日本プラスチックリサイクル工業会の協賛名
義使用の承認を受けたいので、関係書類を添えて申請致します。

記

名 称 2014NEW環境展
テーマ 環境ビジネスの展開
主 催 日報ビジネス 株式会社 TEL03 (3262) 3562 FAX03 (5214) 6633
会 期 2014年5月27日(火)～30日(金)4日間 (午前10～午後5時)
※最終日のみ午後4時まで
会 場 「東京ビッグサイト」東1・2・3・4・5・6ホール及び屋外会場
(東京都江東区有明3-10-1)

以上



平成 26 年 8 月 3 日

全日本プラスチックリサイクル工業会 殿

日報ビジネス 株式会社
東京都千代田区三崎町 3-1-5

「2014NEW環境展」協賛名義使用の申請について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より種々お世話にあいなり、誠に有り難うございます。

弊社主催の「NEW環境展」は、92年より開催いたしました「廃棄物処理展」より通算23回目の開催となります。貴団体をはじめ多くの皆様のご支援ご協力のもと、規模の拡大と内容の充実に成果をあげてまいりました。本年「2014NEW環境展」は過去最大のイベントとして入場動員計画20万人の来場者を予定しております。特に海外からの来場者も増加すると思われ、一段と国際色豊かな開催が期待できます。

つきましては、「2014NEW環境展」の開催にあたり、これに対する貴団体の協賛名義使用の承認をいただきたく、関係書類を添えて申請いたします。よろしくご検討の上、ご承認を賜れば誠に幸いです。

協賛名義使用に伴う費用負担は一切ありません。

ご多忙のことと存じ上げますが、ご回答を3月下旬頃までにいただければ幸いです。何卒、宜しくお願い申し上げます。なお、同封いたしましたのは下記のとおりです。

敬具

記

- ・代表者宛の主催者・当社河村勝志名の申請書
- ・回答用紙および返信用封筒
- ・開催案内 2014NEW環境展

以上

<連絡先>

日報ビジネス 株式会社

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3丁目1番地5号 神田三崎町ビル3F

TEL 03 (3262) 3562 FAX 03 (5214) 6633

担当 佐藤 早坂



経済産業省化学品課細川課長補佐様との意見交換会報告書

常任理事 石塚勝一

開催日：2014年2月26日午後5時～8時30分

会場：ホテル ラングウッド

組合参加者：(有)栄合成石橋社長、いその(株)磯野社長、(株)パナ・ケミカル犬飼社長、
関越資材(株)大淵社長、(株)菊池化成菊池取締役、(株)近江物産芝原社長、
進栄化成(株)進藤社長、富士興業(株)中村専務、協栄化成(株)山下社長、
石塚化学産業(株)石塚社長 (五十音順 敬称省略) 計 10 名

意見交換会内容：

出席者各人が細川様に自社の業務内容や考えを述べて、それに議題に細川様が
応え他の参加者も発言するという形で進められました。とても親身になって情報を
頂けたこと感謝しております。最後に参加者と名刺交換を行い、
いつでも連絡くださいとのことでした。今後は年に1～2回定期的に開催することを
約束して解散致しました。

会計報告：

収入	参加費	4000円 x 10名 = 40,000円
支出	会場費用	ホテルラングウッドへの支払 87,717円
収支		-47,717円
会からの補助		47,717円

以上